

ふれあい情報

速報版

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)

■発行人 羽山 治美

■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-1

Tel: 03-5295-0507 Fax: 03-5295-0541

e-mail taishyokusharengo@sv.rengo-net.or.jp

2012年6月13日(水) 第149号

退職者連合・第6回幹事会

2012年度運動方針(案)を確認

退職者連合は6月12日、連合本部において今年度最後となる第6回幹事会を開きました。

幹事会では、第16回定期総会に提出する運動方針や対政府要求、予算、総会スローガンなどの議案を決めました。また、退職者連合の「組織拡大・強化アクションプラン」についても決定しました。議案書は、6月25日までは全組織に保管用として配布します。なお、代議員には総会当日に別途議案書を配布します。また、幹事会に先立ち12日午前、第11回常任幹事会を開催しました。なお、第2回選考委員会が幹事会終了後に開催され、選考の進め方について検討しました。

連合本部と意見交換

退職者連合は、5月28日と6月8日の2回にわたり、連合本部(総合政策局)と2012年度運動方針案と対政府要求案について意見交換を行いました。出席等は以下の通りです。

○出席者

(連 合) 川島千裕 総合政策局長
花井圭子 総合政策局長
仁平 章 経済政策局長
伊藤彰久 生活福祉局長
(退職者連合) 羽山治美 事務局長
木村 寛 事務局次長

林 道寛 事務局次長

○場所 連合本部6階 601号室

○日時 第1回 5月28日

第2回 6月8日

10組織から意見・要望

2012年度運動方針案と対政府要求案づくりにあたり、退職者連合は、昨年11月29日に開催したブロック代表者会議での要望を受けて、中央と地方の退職者組織に広く意見を求めました。

その結果、締め切りの5月31日までに中央退職者組織3団体、地方退職者組織7団体から意見や要望が寄せられました。

退職者連合では、それぞれの内容を具体的に検討し、第6回幹事会に総会議案としてはかりました。また、いただいた意見については、コメントを付けて議案書とともに地方退職者組織に送付します。

会計監査の辞任について

郵政ユニオンクラブ退職者の会から5月23日付けで川崎義之氏の会計監査辞任の申し入れがありました。第6回幹事会は、退職者連合規約18条に基づき、辞任を承認しました。新しい会計監査については、決まり次第、ご報告します。任期は残り1年となります。

石川昇氏(林退会)が選考委員長に

5月22日(火)、連合本部A会議室において

第1回役員選考委員会が開かれました。委員会には選考委員6名が出席。選考委員長に石川昇氏(林退会)、副委員長に西澤清氏(日退教)を選出しました。委員には、奥村修三(郵政退協)、川端邦彦(自治退)、熊崎清子(シニア友の会)、羽山治美(退職者連合)の各氏が就任しました。

第7回組織強化委員会

組織拡大・強化アクションプランつくる

組織強化委員会は、昨年7月の第15回定期総会後から退職者連合の組織拡大・強化対策について検討を続け、6月12日に開いた第7回組織強化委員会で「組織拡大・強化アクションプラン」としてこれをまとめました。

策定された拡大プランは、同日開催の第11回常任幹事会及び第6回幹事会において確認され、第16回定期総会での2012年度運動方針(案)の一部(議案別冊扱い)として提案されることになりました。

この組織拡大の取り組みについては、連合が進める「1000万実現プラン」と連携して推進していくこととなりますが、連合は5月31日に仙台市で開いた第62回中央委員会でこの「1000万実現プラン」を機関決定しました。退職者連合との連携についてもこのプランの中で位置付けられており、組織拡大に向けて連合との一層の連携強化が求められています。なお、「拡大プラン」(案)は、総会議案書とともに保管用として各退職者組織に事前に配布します。

2012年組織実態調査の結果と課題

未加盟産別対策と地域での拡大がポイント

本年3月に実施した2012年組織実態調査の結果は、冊子にまとめた上で、5月段階ですでに各退職者組織に送付しましたが、6月12日開催の第7回組織強化委員会でその結果と課題について検討されました。詳しい内容は、別紙の

「2012年組織実態調査の結果と課題について」を参照ください。委員会では、調査結果のまとめとして以下の通り報告しました。

4. まとめ

退職者連合は調査結果を踏まえ、課題で明らかとなった(1)中央退職者組織対策と未加盟構成組織対策を強化して組織拡大・強化に向けた取り組みを一層強めるとともに、(2)退職者連合の運動の柱の一つとなる地域の強化に向けて、①地協の設置と活動促進、②地方退職者組織の運動強化・組織強化、③地域での組織拡大を取り組んでいく、こととする。

第7回女性委員会

討論集会の成果を活かそう

本年3月2日に退職者連合が総評会館で開いた「3.2男女共同参画討論集会」のまとめを行うため、6月12日午後、第7回女性委員会を開催しました。委員会では、3.2集会での挨拶や発言内容を確認し、次回の集会に活かしていくこととしました。

なお、委員会では「開催時期は未確定」としながらも来年も「女性集会」を開催する方向で検討しました。

後期高齢者医療制度廃止へ

法案骨子まとめる

—民主党厚生労働部門会議—

民主党は、後期高齢者医療制度の廃止について、政府が明確な方針を示めさず、廃止見送りとともに取りざたされる中、5月31日、党の厚生労働部門会議(座長・長妻昭衆議院議員)で、後期高齢者医療制度は廃止すべく高齢者医療制度改革会議のとりまとめに基づいて今国会に法案を提出するよう党としての法案骨子をまとめました。

<地域ニュース・速報>

2012 大阪高齢者集会

対政府要求たなざらしへ怒り

-集会後、抗議デモを貫徹-



△集会であいさつする阿部保吉会長。(6月5日、大阪市)

「2012 大阪高齢者集会」は6月5日、13時30分から、大阪市内のドーンセンターで開催され、連合大阪高退会（三ツ木宣武会長）を構成する退職者組織の会員など650人が結集した。

「第1部」記念講演では、同志社大学大学院教授の浜矩子氏が演題「高齢社会と日本経済」で講演された。

「第2部」集会では、連合大阪の川口清一会長、退職者連合の阿部保吉会長、民主党の梅村聡参議院議員が来賓として激励のあいさつをした。



△会場を埋めた連合大阪高退会のみなさん。

退職者連合の対政府要求である「後期高齢者医療制度の廃止」「公的年金等控除の140万円と

老年者控除50万円の復元」など強く求めてきたが、民主党政権に店晒しにされていることに対し、怒りをもって実現を求めることが確認された。

市民生活破壊の橋下市政へ**怒りのデモ行進**

一方、橋下大阪市長の労働者の基本的権利を踏みにじる行為に断固として闘うこと、市民生活を破壊する政策、弱者切捨ての条例などとは対峙していくことなどを確認し、怒りの集会となった。

「第3部」集会終了後、土佐堀通りから淀屋橋を經由して大阪市役所までデモ行進を行い、シュプレヒコールで市民に訴えた。

デモ解散場所「女神像前広場」において橋下市政を糾弾する「抗議集会」を行い、大阪の労働運動と民主主義を守り、市民生活を破壊させないために闘い抜くことを誓い合い、成功裏に終了した。



△橋下市政への怒りの行進。(5日、大阪・土佐堀通り)

(報告・写真提供:連合大阪高退会)

<報告者の独りごと>

「大阪高齢者集会」は2010年6月11日に600人規模で開催し、今回が2回目の開催。毎年課題、テーマで開催する方針を決めましたが予算で苦勞しています。